

いちいち

大阪府関西創価小学校 五年

西尾^{にしお}

香凜^{かりん}

お母さんはいちいちが多い。

「あれもった？」

「あれした？」

「今日の楽しいことベストは何だった？」

「今日のワーストは何だった？」

いちいちうるさい。

ジュニアオーケストラのドイツ演奏会に出演

することになった。

はじめてお母さんと離れていく海外。

出発の空港で、

「向こうについたら連絡してね。」

「あれはここに入ってあるからね。」

「他の人が何か忘れていたら余分に入れてあ

るから渡してあげてね。」

「ひとりで行動しないでね。」

いつも以上に

いちいちうるさい。

他の団員もいる前ではずかしい。

しかも余分な荷物が多いから重くてしかたがない。

お母さんの方をふり向かずに保安検査場に向かった。

演奏会と次の会場への移動で毎日が忙しい中

お母さんが余分に持たせてくれた物が

人にもわたしにも役に立っていく。

いちいちいわれられていたことが

毎日の海外生活をスムーズにしてい

くお母さんに会いたいな。

到着ロビーでお母さんが見えた。

さみしくなんかなかったよと強がりながら

ドイツでの出来事を話した。

お母さんが笑いながら肩をよせた。

いちいちいちいち安心する。

わたしはお母さんが

いちいちいちいち大好きだ。